

- 四季を通じて新鮮で安いでしか手に入らない地場産品を販売（商品開発も）（15）
- 町の歴史や観光案内を魅力ある会話と親切な接客で案内できる人を置こう（3）
- 外国人観光客に対応したパンフレットや看板を設置し、標識などを教えることができる施設を目指そう（5）
- アイデア豊富な駅長が必要！（やわらかい人柄、温かいスタッフも）（10）
- 町民で道の駅を支えよう（清掃、ボランティア体制、町の人々が愛せない町外の人も愛してくれないよ）（1）
- みんながくつろげる空間を作ろう（外観は石や木材も、オシャレで女性に人気のある場所に）（10）
- 現役をリタイヤした農家や家庭菜園が上手な人も参加した直売所で珍しい野菜（七列とうきび）や不揃いの野菜を販売できる場所がほしい（8）
- 隣接地（神社等）の複合活用（1）
- 雪だるま作り合戦や子ども向けイベント（ヨーヨーすくいなど）等を観光会社と連携して実施したい（5）
- 町内の飲食店も参加しながら、町内の農産物をふんだんに使用した体にやさしいレストランがほしい（畑の展示があると面白い）（3）
- 駐車場の広さやシャワー設備に配慮し、運転手や来場者の休憩機能を高めよう（3）
- きれいで手入れが行き届いていて牧歌的な風景を活かした施設を目指そう（3）
- シャワーとコインランドリーを兼備した休憩室を作ろう（トイレは全てウォッシュレット、災害時は避難場所に）（15）
- フードマイスターを配置した地元農畜産物の直売所をつくろう（越冬野菜も）（1）
- サイクリングガイドを設置したレンタルサイクル（花観光とつなげる）（11）
- （町民みんなが参加できる体制で）地場食材を使った食べ物を販売しよう（レストラン、テイクアウト、ジュース、スムージー）（1）
- 町民（特に高齢者）が気軽に寄れるように無料送迎バスや日用品を販売して交流のできるスペースがほしい（18）

↓午前中は、講師による基調講演「みんなで考えるまちづくりーあなたのアイデアで地域が変わるー」が行われました。



フォーラムの流れ



→各グループの提案を3～5つに絞り込み、全体に発表。参加者全員で良いと思う提案にシール投票をしていきました。



↑午後からは、全体を大きく3つのテーマに分け、5～6人ごとにグループ討議を行いました。

まちづくり基本条例、そしてこれに関連した町民参画推進条例の施行により、今後今回開催した「100人フォーラム」のような町民参画の機会が一層増えていきます。ぜひ多くの皆さんに関心を高めていただき、よりよいまちづくりを進めていきたいと考えています。

町民の皆さんに、こうした課題があることを共通認識のうえ参画いただくためには、十分な情報共有と運用手法の定期的な見直し、そしてこうした機会を数多く行いお互いの役割を認識していくことが重要だと再認識しています。

町民参画の推進における課題と今後に向けて
「いただいた貴重な意見は反映するべき」という理想を持ちつつ、「でも費用面や運営面から、意見の全てを取り入れることは簡単ではない」という大きな課題も見えた今回の100人フォーラム。